

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	136	55.7%
延べ利用者数 (人)		4000	1587	39.7%
自主事業	実施回数 (回)	11	187	1700.0%
	利用者数 (人)	152	1275	838.8%
収入	指定管理料 (円)	14,217,000	7,108,500	50.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	1,381,550	40.6%
	自主事業収入 (円)	3,888,000	774,250	19.9%
収入計 (円)		21,505,000	9,264,300	43.1%
支出	人件費 (円)	10,274,000	5,360,437	52.2%
	維持管理経費 (円)	7,034,000	2,937,676	41.8%
	自主事業関係経費 (円)	2,861,093	705,844	24.7%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		20,169,093	9,003,957	44.6%
収支 (収入－支出) (円)		1,335,907	260,343	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は計画どおりである。利用者数については、昨年とほぼ変わらない状況であるが、下半期に向け、啓発、広報活動により、人数の確保に力を入れていく。	【事業の実施状況について】 通所事業では、昨年度に引き続き要介護状態でない方を対象としたセンターであることを意識し、活動内容を改善した。その結果、利用者同士で活動内容について話し合いを行い、決定し、実施するなど好評を得た。自主事業にも力を入れ、市民のニーズに合った事業を展開している。	【収支状況について】 通所事業の収支は、良好である。自主事業においては、利用者のニーズを一番に考慮し、企画を立ち上げるように努力した結果、収支状況が上向き傾向にある。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画どおり開館されているが、利用者数については計画よりも下回っている。引き続き啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 事業の目的を常に意識した事業内容が実施されており、おおむね良好である。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好であり、自主事業の収支については、引き続き収支の改善を図る必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っ	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

	ている				
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善	
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>市との協議及び指導を受けながら、着実に業務改善を図ることができています。通所事業においては、利用者のニーズに合った活動の方法、サービス内容を改善し、利用者が過ごしやすい空間をもたらすことができました。自主事業は、広報掲載の効果もさることながら、利用者からの口コミが大半を占め、評判の良い講座を増やし市民に広く知っていただく機会となりました。これからも、収支バランスの適正化に努めながら、継続的に運営していきます。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>通所事業については、事業の目的や効果について常に意識した事業運営ができています。自主事業については、市民への積極的なPRや声かけの効果がみられます。 今後も引き続き、利用者を増やすための取組を行うとともに、収支バランスの適正化に努めるようお願いいたします。</p>